

2022年度事業報告

2022年度 事業報告

I. 2022年度の事業総括

・2022年度においても新型コロナウイルスの影響は継続をし、さまざま対策を施しつつ事業を実施いたしました。このような環境の下で、本協会としては予定していた事業の実施時期や実施形態の変更を適宜行うとともに、**コロナ禍においてもスポーツを存続させること**を目的に、運動部学生や大学・競技団体に対する支援プログラムを実行して参りました。結果として、年度当初に設定した**会員数目標は未達成**であったものの、**パートナーとの共同事業の進展**や学生・大学・競技団体支援プログラムを通じて、**UNIVASに対する認識や存在価値の浸透**は図られてきた一年でありました。

II. 新型コロナウイルスの影響と対応

(1) 事業活動への影響	①主催イベントの延期・縮小：一部イベント・セミナーをオンライン開催に変更 ②テレワークの推進：事務局においてはテレワーク併用勤務体制を遂行中。
(2) 会員へのサポート	①官公庁通達の一元化と会員への発信：10回 ②再開ガイドライン第7版を経て、「大学スポーツ活動ガイドライン」を発行（3月）
(3) スポーツ活動の支援策	①試合動画の共有サービス：1大学9競技団体に活用 ②体温・体調管理システムの無償提供：606運動部・11,361名が活用 ③UNIVAS CUP指定大会開催の支援 ・スポーツセーフティネット制度・無観客試合の広報支援・感染対策備品の供給 ④競技団体横断での助成金申請 28団体・スポーツ庁助成金 95,236千円受給

2022年度 事業報告

Ⅲ. 実施事業の概要

(1) 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

・112回のセミナー開催とオンラインサービスの提供により 2,892名に対してデュアルキャリア形成への理解促進を図り、学修支援教材を 3,278名に提供、1,281名に就活サポートセミナーを提供して、総勢 7,451名に対してスポーツによる人材育成に向けた意識啓蒙を図りました。

(1) UNIVAS研修会の開催	▶コロナ影響を鑑み、オンライン形式にて開催した。 ①管理者セミナー(2回)81名②指導者セミナー(2回)55名
(2) 学修支援プログラムの提供	▶新教材開発により6種類の学修支援教材を提供。 ○19大学3,278名の学生に提供を果たした。
(3) デュアルキャリア形成支援プログラムの提供	①DC Online: オンラインセミナー受講1,055名・適性診断受診879名・相談窓口利用902名 ②DC Online for TEAM: 12大学を訪問し、運動部単位のセミナー 45回開催。参加 735名 ③リーダーズキャンプ: 開催 6 回・参加 66名 ④組織マネジメント研修: 開催 13回・参加 78名 ⑤人間力育成セミナー: 開催 24回・参加 198名 ⑥自己認識力養成プログラム: 開催4回・参加42名 ⑦コミュニケーション講座: 開催 3回・参加 24名 ⑧大学・競技団体別DCセミナー: 開催10団体・参加558名 ⑨就職セミナー: 開催7回・参加1,281名

2022年度 事業報告

(2) 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

UNIVAS SSC制度にて会員の安全体制の組織的整備を推進し、且つ安全安心セミナーの定例開催により意識啓蒙を行うとともに、56大会への医療従事者等配置を進めることによって56大会41千名の参加者の安全安心な試合環境の確立にも寄与するなど、大学スポーツの総合的な安全安心な環境確立を推進しました。

(1) 安全安心認証 「UNIVAS SSC」 制度の稼働	▶ 会員における安全安心体制の確立を支援する認証制度を5/10より開始。 制度説明会の連続開催と予備審査制度も提供して、認証会員の拡大を推進。 [認証発行]・8会員・累計11会員 [予備審査]・17会員実施済み [説明]・32団体
(2) 相談窓口の開設	▶ 大学の運動部におけるハラスメント問題等に関して、学生のみならず関わる指導者や父兄からの相談を直接承る「UNIVAS相談窓口」を継続開設。 相談件数 33件
(3) 医療従事者等 の配置促進事業	▶ 試合や大会の現場における安全対策の一環として、医療従事者等の配置をUNIVAS費用負担にて行う事業を展開。 [助成結果]・配置299名、56大会参加者 41,394名の選手の安全確保に寄与
(4) 安全安心に関する 啓蒙活動の推進	▶ 安全安心オンラインセミナーを隔月で定例開催した。 開催5回・視聴者393名

2022年度 事業報告

(3) 大学スポーツ認知拡大の推進事業

・開催4年目となるUNIVAS CUPを軸に、3,833試合のインターネット配信を実施、視聴数も2,718千回と過去最高を記録。また、4年目で初のリアル表彰式を開催できた UNIVAS AWARDSにおいては、登壇学生の喜びの声や多大なパブリシティを獲得するなど、大学スポーツの認知拡大を更に推進しました。

(1) UNIVAS CUP の開催	<ul style="list-style-type: none">▶withコロナ的环境下であったが、予定されていた31競技34の指定大会を開催。<ul style="list-style-type: none">・実施30競技大会中、27大会にてUNIVAS共催を行った。▶Photo Galleryにて22競技の写真を公開。ダウンロード8,462枚。
(2) 試合動画の配信	<ul style="list-style-type: none">▶withコロナ环境下において、配信試合数の拡大を図り、視聴者の増大を果たした。<ul style="list-style-type: none">・配信試合数 3,833試合（うちライブ配信3,712試合） （UNIVAS CUP指定大会 / 東都大学・首都大学野球 / 関東・関西バレーボール他） 視聴数 2,718千回▶アナウンス講座の受講を経て、9競技大会で学生が実況アナウンスを担当。▶地区リーグ戦においては、学生中心の映像制作・動画配信を行った。
(3) UNIVAS AWARDS の開催	<ul style="list-style-type: none">▶開催4年目にて初めて、表彰式をリアル開催した。(プリンスパークタワーホテル) [エントリー数] 47会員(44大学・3競技団体)143件 [表彰数] 13コース 最優秀賞13名・優秀賞46名・入賞81名

2022年度 事業報告

(4) 大学スポーツファン拡大と組織化推進事業

・より楽しめる観戦環境の提供に向けて UNIVAS Plusにて有料サービス「プレミアムプラン」の提供を開始し、新たな収益獲得チャネルの確立に着手しました。また、UNIVAS Plusユーザーは12万人を突破し、大学スポーツ観戦メディアとしての浸透が進んできています。

(1) My UNIVAS Our UNIVAS の登録と利用促進	<p>▶ ユーザビリティの向上に向けた機能改善改修を実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・My UNIVAS: 「Googleアカウント登録機能」追加・ランディングページ追加 [My UNIVAS登録学生] 19,686名・Our UNIVAS: 「ファイル収集機能」追加 [管理者登録: 167大学・22競技団体]
(2) UNIVAS Plus プレミアムプラン	<p>▶ 「UNIVAS Plus」における有料サービス「プレミアムプラン」を10/11リリース。</p> <ul style="list-style-type: none">・ダウンロード数 156,328件・ID登録数 121,370人・プレミアムプランユーザー数 3,053人
(3) SNSフォロワー の拡大	<p>▶ Instagram、Twitterを軸に、学生による情報発信を拡大。</p> <ul style="list-style-type: none">・Instagramフォロワー 6,352人・Twitterフォロワー 7,682人

2022年度 事業報告

(5) 会員組織運営のサポート推進事業

・スポーツ庁公募事業を受託し、「感動する大学スポーツ総合支援事業」をスポーツ庁と一体となって推進しました。また、会員からの要望が多数あった「コンプライアンスの徹底方策」に関しては、研修会を月例開催して通算2千名以上が参加する等、コンプライアンス意識の啓蒙を推進しました。

(1) スポーツ庁受託事業の実施	▶スポーツ庁より「感動する大学スポーツ総合支援事業」を受託し、実施した。 ① 大学スポーツの深耕に関する調査研究事業：3事業を実施 ② 大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業：13大学を採択
(2) コンプライアンス研修会の開催	▶会員からの要望を受け、コンプライアンス研修会を月例オンライン開催した。 ・開催12回 参加2,068名
(3) 手引書の作成	▶過去2年発行の実績を踏まえて「大学運動部におけるガバナンス強化のための手引書」を発行した。
(4) ガバナンス整備	▶競技団体における法人化への手続き等組織ガバナンスの法的支援を実施した。 対象10団体のうち9団体が法人格を獲得
(5) 各種データ提供体制の整備	▶スポーツ庁委託事業「感動する大学スポーツ総合支援事業」における大学スポーツの振興に関する調査研究事業の統括を行った。

2022年度 事業報告

(6) 事業を支える4施策の状況

(1) 会員の維持 と開拓施策	<p>▶ 大学代表者から学生まで幅広い対象に対して会議を10回開催。 ①大学代表者懇談会(12/8) ②提供サービス説明会(4/18,20,21) ③UNIVAS Plus 新サービス説明会(5/24,27) ④学生向け共有会(6/6,9) ⑤下期施策共有会(10/5,11)</p> <p>▶ 新加盟 ・3大学・1競技団体・2連携競技団体</p>
(2) 新たなパートナー 開拓の推進	<p>▶ 新たなパートナー開拓 ・候補企業との商談は発生しているが、新規契約には至っていない。</p>
(3) 学生の意見反映の 仕組みづくり	<p>① UNIVAS STUDENT LOUNGE ・19名の学生がUNIVAS CUPの大会取材や広報活動を展開。</p> <p>② ありもり会議を開催(9/6) ・順天堂大学の協力を得て、同大学キャンパスにて実開催。183名参加。</p>
(4) 組織運営体制 の整備	<p>① 理事体制:24名体制 ② 理事会:月例で12回開催。 ③ 事務局体制:職員総数(業務委託者。出向者含む)は24名体制</p>